

# 足元から日常を見つめ直すアイテムの提案

Reconsider our daily life from our feet

舟山 和月  
指導教員 比留間 真

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 空間・工業意匠研究室

働き方が変わり、働く服装も変わっていく。  
その変化に応じて生じた悩みについて、普段履く靴とその周りから考え、  
解決の糸口となるようなデザインを提案する。

靴, 仕事服, 女性の働き方

## 1. 研究動機・目的

立っているときも、座っているときも、歩いているときも。「靴」は日常を支えてくれている。だが、そんな靴に関する扱い方について調べているうちに、当たり前とされて社会的な問題が埋もれている現状が見えてきた。そこで、本研究では、いつもは関心を持たない足元の問題について改めて考える媒体の提案を目的とする。

## 2. 調査分析

### 2.1 働く人々の靴

まず、日常的な靴の扱い方について調査した。日本の働く女性は、勤務時と社内で靴を履き替えている人が多いことが分かった<sup>1</sup>。理由としては、動きやすいから、会社の規定のため、室内と室外で分けるためなど様々である。皆それぞれの職場に合うフットウェアで仕事をしているようだ。だが、その中でもオフィスでデスクワークをする場面に特化したアイテムは少ないのではないかと感じたため、重点的に調べることにした。

### 2.2 問題点

ここで私が引っ掛かりを感じたのは、大きく分けて二つだった。一つは、身体の健康に関してである。足の悩みの一つである外反母趾は女性に多いが、一般的に着用されているパンプスは足先が窮屈なため筋肉のバランスが崩れ、それが続くとたこや浮指、外反母趾などの症状が出てしまう

ことが問題として分かった<sup>2</sup>。

二つ目は、なぜフォーマルとされる靴を履かなくてはならないのだろうかということだった。現代の日本では、女性のヒール靴着用がマナーとして根付いている。これに待ったを掛けたのがいわゆる「#Kutoo 運動」である。一時期ニュースに取り上げられ、議論の的となった<sup>3</sup>。一方、マナーや規定はあるものの、明確に指定されていない場合も多い。人によって線引きが異なり、どこまでがOKラインなのか分からない、というのが現状である<sup>4</sup>。

### 2.3 そもそも「当たり前」ってなんだろう

2020年以降、生活も、働き方も目まぐるしく変化している<sup>5・6</sup>。そんな中で、マナーやルールがなぜ今のかたちで定義されているのか、なぜ逸脱すると変なのか、今一度身の回りの「当たり前」について考えるべきだと考えた。

## 3. コンセプト

「足元から日常を見つめなおす」をコンセプトとする。

- ・「足元から」は自分の足からという意味であり、「自分の身の回りから」という意味も含む
- ・いつもなんとなく通り過ぎてしまう、放っておいてしまいがちなことにフォーカスする

## 4. アイデア展開および試作

- ・インソール案

足元の健康面のアプローチとして、持っている靴に入れて使えるインソールを検討し、試作を行った(図2)。足指の付け根にあたる部分に段差をつけることによりグリップ感が高まり、自然に指の運動が促進される。その結果、外反母趾や、その他足の健康にかかわる土踏まずのアーチをつくることのできる構造になるよう工夫した。

#### ・フォトブック案

一つ目の案とは違う視点でのアイデア展開として、日常の足元をビジュアルとして切り取るフォトブック(写真集)の案を考えた(図3)。当たり前とは何だろう、普通じゃないとは何だろうと見る側に考えさせることがこのフォトブックの目的である。



図1 インソール案試作



図2 フォトブック案スケッチ

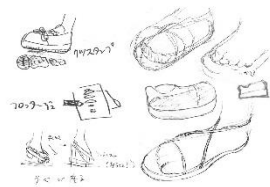


図3 アイデアスケッチ

## 5. 今後の展開

アンケートを実施し、試作などについて意見をもらう。それをもとに改善点を洗い出し、最終成果物の制作に取り掛かる。

### 参考文献

[1] “会社で履いてる「社内履き」、どんなの使ってる?”。マイナビニュース。2019-10-29。

<https://news.mynavi.jp/article/20191029-899308/>, 参照 2024-10-25

[2] 原 珠枝. 痛くて歩けない外反母趾の治し方. 現代書林, 2020, 143p.

[3] “「パンツにペタンコシューズでは相手に失

礼」女性限定ファッションマナーは時代錯誤か性差別か”. PRESIDENT Online (プレジデントオンライン). 2022-03-12.

<https://president.jp/articles/-/55273>, 参照 2024-10-25

[4] “【調査レポート】働き方が変わってきた今、ビジネスパーソンの服装の悩みとは?”. @シン・シゴト服ラボ. 2023-10-26.

[https://note.com/shinshigoto\\_lab/n/n912cfa10bbb2](https://note.com/shinshigoto_lab/n/n912cfa10bbb2), 参照 2024-10-25

[5] “ビジネスファッションに関する調査を実施”. 東洋経済プロモーション. 2023-02-22.

<https://biz.toyokeizai.net/blog/detail/id=2802>, 参照 2024-10-25

[6] “【ビジネスファッションに関する調査】スーツ勤務のオフィスワーカーは3割以下。一方で約7割が「服装は契約の有無に関係する」と回答”. 株式会社アーバンプランのプレスリリース. 2024-1-23.

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000021.000083983.html>, 参照 2024-10-25